

書籍仕入れご担当者様【ジャンル/歴史・民俗学・海女】

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。

新刊の『最後の漂海民』を2月下旬に発売致します。

ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

# 最後の漂海民

さいかい えおね あま  
《西海の家船と海女》



あずま やす ゆき  
東靖晋◎著

定価 1800円+税【2月下旬刊】

四六判・220頁 ISBN 978-4-86329-167-6 C0021

## 辺境の海(=東シナ海)を駆け巡った 無告の「海人」たちへの挽歌

◆甦る海人の系譜(白水郎—海夫—家船)  
と環東シナ海交易圏(博多~琉球列島~  
中国・寧波~朝鮮半島)◆

年間のほとんどを船の上で暮らした家船(長崎県西海市を拠点とした海人)と対馬の海女たちからの聞き書きをもとに、海に生きた人々の漁法、交易の方法、暮らしぶりから安徳天皇伝説・船霊信仰等民俗学的考察まで、海からの視点でまとめられた海洋文化論。環東シナ海をめぐる交易の多様さが浮かびあがる。

〈著者の横顔〉東靖晋(あずま・やすゆき) 1946年兵庫県淡路島生まれ。中央大学法学部卒業。68年毎日新聞社入社。熊本支局長、編集委員などを経て、2006年定年退職。著書に『境のコスモロジー 市・渚・峠』(海鳥社)『西海のコスモロジー 海人たちの時間と空間』(弦書房)。共著に『漂民の文化誌』(葦書房)ほか。

・目次から・

### 第一部 西彼杵半島・瀬戸の家船

#### I 最後の家船系漁師たち

九州家船の本拠地へ/「カズラ網」とは何か/「キノコ雲」から「流れ船」まで/漂泊民と定着民のはざま

#### II 西海海人の系譜をたどる

カエキ—交換する世界/「白水郎」「土蜘蛛」とは何者か/宣教師たちの見た家船

#### III 石鍋と南島をつなぐもの

南島史を揺るがす喜界島/琉球社会の劇的転換

### 第二部 対馬・曲の海女

#### I 海女—海底労働の世界

海女仲間への道のり/その名も「ドンブリ海女」

#### II 漂泊・移動の日々

海の民と里の民の交流/ハル・ベーベ—の一年

#### III 歴史と伝承の曲海女

島社会と海女部落/安徳天皇伝説を抱く民

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品  書店・帖合  ご担当者様	冊	最後の漂海民 《西海の家船と海女》 東靖晋 著 定価 1800円+税 ISBN978-4-86329-167-6
	冊	放浪・廻遊民と日本の近代 長野浩典 著 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-143-0
	冊	鯨取り絵物語【2刷】 中園成生/安永浩 著 定価 3000円+税 ISBN 978-4-86329-010-5
	ご注文日	弦書房 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com —Genshobo—